

スペクター
SPECTRE
観賞日 2017・10・9

制作 2015年製作 イギリス映画

上映時間：148分

監督 サム・メンデス

原作 イアン・フレミング

脚本 ジョン・ローガン

音楽 トーマス・ニューマン

出演 ジェームス・ボンド：ダニエル・クレイグ マドレーヌ・スワン：レア・セドゥ
ルチア・スキアラ：モニカ・ベルッチ M:レイフ・ファインズ

Q:ベン・ウィショー マネーペニー：ナオミ・ハリス C:アンドリュー・スコット

前任のM:ジュディ・デンチ フランツ・オーベルハウザー(エルンスト・スタヴロ・ブ
ロフェルド) (スペクター首領):クリストフ・ヴァルツ

(あらすじ) 前作スカイフォールの続編とも言える。

メキシコでの休暇中に起こした不祥事(前作スカイフォールで亡くなったMからの遺言ではあったが)により、全ての任務から外されたボンド。Mの監視を逃れ単独ローマへと赴く。そこでボンド自身が殺害した悪名高き犯罪者(マルコ・スキアラ)の未亡人 ルチアと出逢い、悪のスペクターの存在をつきとめる。その後スペクターを裏切ったとしてタリウムを盛られ瀕死のミスター・ホワイトと出逢い、娘のマドレーヌ・スワンを守る事を条件に娘の居所を教え、娘が手掛かりとなる「アメリカン」の居場所を教えると告げられる。誘拐されそうになったマドレーヌを救い、共にスペクターと死闘を繰り広げながらスペクターの核心部分へと迫る中、ボンドは追い求めて来た敵と自分自身の恐るべき関係を知ることになる.....。

世界規模で暗躍するその犯罪組織の正体とは....? ジェームス・ボンドとの因縁と幼少期の秘密が、今明らかに.....。

(解説)

本作は007シリーズの第24作である。ダニエル・クレイグ主演としては第4作であり、クレイグは6代目のボンド役である。次作は「ボンド25(仮題)」が2019年11月8日全米公開される事が決定。クレイグの去就は不明だが続投の可能性大との事(2017.9.23付 映画.comの情報)当初ボンド役として抜擢(カジノロワイヤル)が発表された時は初めての金髪でそれまでのボンドのイメージと大きく異なる事も有って欧米ではアンチサイトが出来るなどバッシングが大きかった。又クレイグの身長は178cmと低くはないが歴代のボンド役は身長185~190cmと高身長だったため「ボンド=長身」と言うイメージが強く、撮影現場ではシークレット・ブーツを着用する場合は有ったとの事である。

撮影後 本人曰く いろいろ実際に言われると傷ついたよ。でもそういう人たちを納得させるための唯一の方法はこの役を上手くやりこなすことだったと語った。

原作のボンドに限りなく近い、寡黙なタフなボンドを演じ切り、その演技が評価され「カジノロワイヤル」はシリーズ最高記録の興行収入(599百万ドル)を樹立、その後「スカイフォール」が更新(1,108百万ドル)、シリーズ初の英国アカデミー賞主演男優賞にノミネートされ、ショーン・コネリー以来の最高のボンドだと絶賛された。本作「スペクター」はその続編的構成で興行収入880百万ドル 製作費245~300百万ドル

アカデミー賞受賞 ゴールドフィンガー(1964)：音響効果賞
サンダーボール作戦(1965)：特殊視覚効果賞
スカイフォール(2012)：音響編曲賞&歌曲賞
スペクター(2015)：歌曲賞

登場人物

M(M I 6) — ライバル(諜報組織の主導権争い) — C(M I 5)

上司 | ボンドの行動に不信感、
| 後半は共に行動、戦闘も辞さない

ジェームズ・ボンド — 敵(社会の) — スペクター(S. P. E. C. T. R. E)/首領：プロフェルド

同僚 マネーペニー、Q、 部下 マルコ・スキアラ ミスター・ヒンクス

ボンドガール マドレーヌ・スワン ミスター・ホワイト

ルチア・スキアラ